

CHUOH TRY+ANGLE

知っ得通信

2017年9月20日発行

編集・発行：中央教育研究所(株) 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-6 <http://www.chuoh-kyouiku.co.jp/>



中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.67

＜生徒のセルフ・エスティームを高めるために＞

皆さん、お元気ですか。夏期講習も終わり、そろそろ、基礎数(在籍生数から受験生の数を引いたもの)を出して、来年の4月の在籍生を予想し、今年以上の数値で来年の4月を迎えるために、来年4月までの集客計画を立てる時期です。これからどのくらい、受験生以外を集められるか、ここがポイントです。

しかし、集客計画だけを立てても生徒は増えません。計画の実行は当たり前として、会員制サービスである学習塾は、会員の満足度を高めておかなければ、集客はなかなかできません。

私どもMBAのコンサルの柱である、生徒や保護者の「セルフ・エスティームを高める」活動をどう行うか、ここが非常に重要なことなのです。セルフ・エスティームが高い生徒は、実は成績や学力は高くなります。そして、セルフ・エスティームの高い生徒は、口コミ発生源になります。ぜひ、皆さんも学習指導を通して、生徒や保護者のセルフ・エスティームを高めるようにしてください。

さて、今回は、セルフ・エスティームを高めるためには、どんな経験をすればよいのかを、ある調査をもとに考えます。教師側から言えば、どんな機会を子どもたちに与えれば、セルフ・エスティームが高くなるのかを考えます。

その調査では、どんな経験をしてきた子どもが「へこたれない力」や「自己肯定感」が高いのか、というテーマで調査をしていますが、それは、私どものキーワードである「セルフ・エスティーム」を高める経験は何か、ということと同じです。

この調査では、ズバリ、子どもの頃に、親から褒められる経験が多く、厳しく叱られた経験が多い子どもが、大人になって「へこたれない力」と「自己肯定感」が高いということが分かりました。一方で、褒められる経験が少なかった子どもは、この二つの力が、大人になっても低いということです。

この調査で興味深い点は、親から叱られる経験が多かったとしても、褒められる経験が多ければ、「へこたれない力」と「自己肯定感」は高くなるということです。つまり、叱られることがあっても、日頃から褒められている(承認をされている)子どもの自己肯定感は下がらないということです。

同じような結果は、親との関係だけでなく、先生や近所の人との関係でも見られます。今回の調査が教えてくれるのは、たくましく「へこたれず」に生き抜く人間を育てるには、たくさん褒め、そして問題があれば、しっかりと叱り、注意をすることが大切だということです。ただ褒めるだけではないというのが、この調査結果が示すポイントです。褒めること、承認することを前提としつつも、時に叱り、注意することが、社会を生き抜く資質・能力の向上に役立つということです。そして、一番良くないのは、褒めることも、叱ることもしない、子どもに無関心な態度だということです。親が無関心だった子どもの「へこたれない力」と「自己肯定感」は、非常に低いものでした。

つまり、私たち塾人は、子どもに関心をもって、しっかり承認し、ダメなときはしっかり指導する。そういう態度で接すればよいということです。そうすれば、会員である生徒は満足し、その様子(=子どもの態度変容)を見る保護者の満足も高まるというものです。

学習指導を通して、生徒や保護者のセルフ・エスティームを高める、そんな塾になってほしいと思います。



【編集後記】【MBA主催の情報交換会に参加しませんか？】

情報交換ゼミナールは、各塾の各塾さまの取り組みの成功事例や改善点など、討論を交えながら次期集客への資源にしていく情報交換会です。もちろん、MBAからも有益な情報をお伝えいたします。

◇情報交換ゼミナール◇

テーマ「生徒の継続/退会防止」

大阪会場：9月28日(木) 10:00～13:30

東京会場：10月5日(木) 10:00～13:30

http://management-brain.com/seminar_tirashi/info_semi_2nd.pdf

詳細は、上のURLをご覧ください。か、弊社(MBA)までお問い合わせください。

お問合せはコチラ→TEL045-651-6922

Mail: mailadm@management-brain.co.jp

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド Vol.31-1

とくに小学校低学年の場合、お稽古事の日程と重なって塾に来られなくなったなんて話を耳にすることがあります。

そういう意味では塾とお稽古事とはいわばライバル関係にありますが、こうしたお稽古事の教室が全国にどのくらいあるかご存知でしょうか。

代表的なお稽古事の教室数が経産省の「経済センサス基礎調査」に載っていますので、3年前の少し古いデータですが、以下に記しておきましょう。(下表参照)

左から学習塾、音楽教授業、書道教授業、そろばん教授業、外国語会話教授業。いずれも事業所(教場)の数です。

塾の教場数は全国で約55,000、ピアノ・エレクトーンなどの音楽関連は20,000、書道と外国語会話が10,000、そろばんが7,000弱といったところでしょうか。この3年の間に外国語会話はもう少し増えているかもしれません。

都道府県別では、塾はもちろんトップが東京で約5,000。塾の1割が東京にあります。一方、最少は島根県の231。

音楽教室のトップも東京。約1,800教場。ラストは鳥取の75。

書道のトップは愛知の約1,000。ラストは同じく鳥取の34。そろばんのトップも愛知で700強。ラストは高知でわずかに17。外国語会話のトップは東京で1,144。ラストは鳥取で34。

書道とそろばんの教場の数が一番多いのは愛知というのにはちょっと驚きますが、基本的には人口の多いところに教場が多く、少ないところは教場も少ないというのは当然でしょう。

そこで、1教場当たりの市場規模(人数)も算出してみました。

次ページは2014年度の中3生数を教場数で除したものです。ここから1教場当たりの中3生の数、つまりは1教場当たりの学年ごとのおおよその潜在顧客数が見えてきます。大きい順に5県と小さい順に5県を挙げておきます。

【代表的なお稽古事の教室数】 平成26年経済センサス

都道府県	塾	音楽	書道	そろばん	外国語
全国	55,037	20,325	10,222	6,753	10,422
北海道	1,599	937	285	250	275
青森	422	232	155	134	74
岩手	344	240	90	64	80
宮城	860	411	190	145	157
秋田	358	194	85	43	49
山形	336	205	94	33	89
福島	770	285	162	121	142
茨城	1,139	374	205	180	242
栃木	892	316	133	172	180
群馬	774	374	103	127	151
埼玉	3,233	1,295	659	272	560
千葉	2,579	735	315	224	491
東京	4,984	1,791	593	404	1,144
神奈川	4,007	1,278	435	315	725
新潟	984	599	243	143	183
富山	375	230	85	223	75
石川	499	295	122	144	100
福井	307	182	83	30	70
山梨	387	172	116	56	71
長野	917	570	97	65	177
岐阜	1,094	380	247	137	235
静岡	1,755	695	518	230	336
愛知	3,563	1,326	992	719	892
三重	945	256	191	170	170
滋賀	775	259	106	87	143

都道府県	塾	音楽	書道	そろばん	外国語
全国	55,037	20,325	10,222	6,753	10,422
京都	1,311	420	204	129	250
大阪	3,989	1,122	608	623	766
兵庫	3,006	880	521	274	576
奈良	741	123	77	80	107
和歌山	622	124	108	110	77
鳥取	268	75	34	21	34
島根	231	117	59	32	42
岡山	890	253	164	60	143
広島	1,519	459	254	186	221
山口	666	181	150	63	102
徳島	438	112	78	61	65
香川	565	119	112	50	72
愛媛	728	208	114	69	104
高知	350	123	60	17	52
福岡	1,930	653	357	96	375
佐賀	354	131	106	25	37
長崎	553	250	123	69	73
熊本	602	299	191	21	126
大分	465	153	94	34	74
宮崎	429	249	124	43	88
鹿児島	608	267	135	56	122
沖縄	874	376	245	146	105

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド Vol.31-2

【塾】(全国平均 21.4人)

県名	1 教場当たり
岩手	35.2 人
山形	31.8 人
青森	30.0 人
北海道	28.8 人
熊本	28.7 人

県名	1 教場当たり
和歌山	15.6 人
徳島	15.8 人
香川	16.8 人
広島	17.6 人
兵庫	17.9 人

【音楽】(全国平均 58.1人)

県名	1 教場当たり
奈良	113.7 人
香川	79.9 人
和歌山	78.2 人
茨城	76.6 人
千葉	75.3 人

県名	1 教場当たり
新潟	36.2 人
長野	36.8 人
石川	37.7 人
福井	43.4 人
宮崎	43.9 人

【書道】(全国平均 115.5人)

県名	1 教場当たり
長野	216.5 人
群馬	189.4 人
神奈川	182.9 人
奈良	181.6 人
東京	177.7 人

県名	1 教場当たり
静岡	68.46 人
沖縄	68.47 人
山梨	72.4 人
愛知	74.3 人
青森	81.8 人

【そろばん】(全国平均 174.8人)

県名	1 教場当たり
熊本	822.2 人
福岡	490.6 人
高知	391.9 人
佐賀	359.0 人
山形	323.8 人

県名	1 教場当たり
富山	45.7 人
石川	77.2 人
和歌山	88.2 人
青森	94.6 人
愛知	102.6 人

【外国語会話】(全国平均 113.3人)

県名	1 教場当たり
佐賀	242.6 人
長崎	192.0 人
秋田	186.1 人
青森	171.3 人
北海道	167.2 人

県名	1 教場当たり
愛知	82.7 人
岐阜	88.1 人
東京	92.1 人
兵庫	93.6 人
京都	96.4 人

1 教場当たりの潜在顧客の数が多いということは、対象人口に比して教場数が少ないということですから、例えば佐賀で英会話の教場を開けば生徒が集まりやすいと考えることができます。

また逆に、少ないということはそれだけ盛んだということですから、愛知で開いたほうがやりやすいという考え方もあるでしょう。

それはともかく、お稽古事というのは盛んな地域とそうでない地域との差がわりと大きいんですね。

塾の場合、岩手の潜在顧客数は和歌山の2.26倍です。

他方、音楽教室の場合、奈良の潜在顧客数は新潟の3.14倍です。そろばんの場合、熊本の潜在顧客数は富山の18.00倍にもなります。ちょっとびっくりしました。

